

### 「キンカーン・インターナショナル・スクール」代表



# 楽しく多国籍幼稚園

JR川崎駅に程近い川崎市川崎区堤根に立つ真新しい園舎に、子どもたちのにぎやかな声が響く。今春、移転してきた国際幼稚園「キンカーン・インターナショナル・スクール」だ。

国際幼稚園の名の通り、二、六歳の園児約六十人の国籍は、日本をはじめ中



国、インドなどさまざま。園児たちは英語の教材も流ちょうに読み上げる。園児を見守る十二人の先生も、米国やトルコ、ブルガ

リアと、出身国は実にさまざまだ。「八カ国の先生がいれば、会議でも八通りの意見が出る。そうして改定を重ねて作り上げられるカリキュラムには自信を

園、インドなどさまざま。園児たちは英語の教材も流ちょうに読み上げる。園児を見守る十二人の先生も、米国やトルコ、ブルガリアと、出身国は実にさまざまだ。「八カ国の先生がいれば、会議でも八通りの意見が出る。そうして改定を重ねて作り上げられるカリキュラムには自信を

持っています」と胸を張る。高校時代に保育士の資格を、短大で幼稚園教諭免許などを取得したが、「当時幼児にかかわる仕事がいよいよとは思っていません」と明かす。転職となったのは、自身の子どもも幼稚園選びだった。

最近、日本企業が社内公用語を英語とする方針を掲

ころにはグローバル化が進んで、最低でも二つの言語を習得する必要がある世の中になってきているだろう」と思い、長男(心)はインターナショナルスクールの幼稚園に通わせたが、日本語使用禁止などの方針に疑問を感じた。

「如月」「弥生」といった日本古来の月の呼び方も学ぶ。園児たちは日本の童謡も英語の歌も覚え、体操の時間は、ロッタからジャズまで幅広い音楽に合わせて踊る。

## たきざわしょうこ 瀧澤昌子さん

1960年10月10日生まれ。「せっかく生まれてきたんだから、いろんな所に行きたいと、中学生のころからいざれ留学したいと思っていた」と、81年に鎌倉女子大短期大学部を卒業後、米国サウスダコタ州のオーガスターナ・カレッジで約2年間、学んだ。2009年からは市の助成を受ける認可外保育施設「かわさき保育室 だるまキッズ大師園」も川崎市昭和で運営している。同区川中島在住。

(北条香子)